

令和3年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	総合評価 S	評価基準(総合評価) S (非常に高く評価できるもの) A (高く評価できるもの) B (一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C (一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D (全般的に多く課題のあるもの)
事業名	民生委員・児童委員の担い手確保・活動環境改善事業		
実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
助成(実績)額	4,947,000円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>民生委員・児童委員の担い手確保PR事業の実施にあたっては、「大阪府政だより」への広告により、府内約240万部発行し、効率的・効果的なPRを行った。また、広報媒体の制作にあたっては、実行委員会委員が所属する市町村民児協の協力のもと、大阪府内10人の委員に協力をいただき、いきいきとやりがいをもって活動していることが伝わる写真や、“地域住民にとっての身近な相談相手”であることが伝わる自然な表情の写真を撮影し、インタビューを行った。こうした内容をホームページ、広報媒体にて発信した。</p> <p>民生委員・児童委員の活動環境改善に関する取り組みとして、“こんなときどうしたらいいの?”という場面や事例を取り上げた研修会と、全国各地の先駆的な委員活動・民児協活動を紹介する実践報告をコロナ禍を踏まえ、オンライン動画配信した。</p> <p>なお、“こんなときどうしたらいいの?”という場面や事例を取り上げた研修会で取り上げる事例については、市町村民児協事務局を通じて事例に関するアンケート調査を実施し、214事例を集め、その中から紹介事例を選定した。研修動画の制作にあたっては、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟に協力をいただき、興味関心をもってもらいやすくより多くの視聴につながるようラジオ番組風の斬新なスタイルの動画を制作した。</p> <p>また、これらの取り組みをブックレットにまとめ、市町村民児協を通じて、府内約8,000人の委員に配付し、取り組みのさらなる普及・推進をはかった。</p>	<p>(1) 民生委員・児童委員の担い手確保PR事業 ①広報PRツール(ホームページ・ポスター・リーフレット等)の制作 ②大阪府内全域における広報PR活動の展開 「大阪府政だより」への広告により、府内約240万部発行し、効率的・効果的なPRを行った。また、「大阪府内の民生委員・児童委員の魅力発信ページ」については、実行委員会委員が所属する市町村民児協の協力のもと、大阪府内10人の委員に協力をいただき、いきいきとやりがいをもって活動していることが伝わる写真や、“地域住民にとっての身近な相談相手”であることが伝わる自然な表情の写真を撮影し、インタビューを行った。ホームページ公開後、府政だより、ホームページを見たという府民からの問い合わせ、反響が事務局にもあり、市町村民児協事務局への紹介、つながりを行った。</p> <p>(2) 「民生委員・児童委員活動環境改善オンライン研修会」の開催 令和2年度に実施した「民生委員・児童委員の担い手確保・活動環境改善に関する調査研究事業」で「活動における悩みや苦労がある」と回答した委員は「93.2%」であり、その多くが“対人支援に関する悩みや苦労”を抱えていることが明らかになった。こうした結果を踏まえ、民生委員・児童委員活動における“こんなときどうしたらいいの?”という場面や事例を取り上げ、基本的な考え方についての解説、対応におけるポイントについてのアドバイスを行う、事前収録形式のオンライン研修会を開催した。なお、研修で取り上げる事例については、市町村民児協事務局を通じて事例に関するアンケート調査を実施し、214事例を集め、その中から紹介事例を選定した。また、研修動画の制作にあたっては、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟に協力をいただき、斬新なスタイルの動画を制作した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>「民生委員・児童委員のお悩み解決！方面道場～基礎編～」 講師：同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 ルーテル学院大学 学術顧問・教授 市川 一宏 氏</p> <p>動画再生回数 558回(令和3年12月15日～令和4年3月31日)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「民生委員・児童委員のお悩み解決！方面道場～応用編～」 講師：同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 ルーテル学院大学 学術顧問・教授 市川 一宏 氏</p> <p>動画再生回数 355回(令和3年12月15日～令和4年3月31日)</p> </div>	<p>■事業実施により、対象者のニーズを満たすことができた。</p> <p>大阪府内全域における広報PR活動の展開に関しては、ホームページ公開後、府政だより、ホームページを見たという府民からの問い合わせ、反響が事務局にもあり、市町村民児協事務局への紹介、つながりを行った。また、委員の抱える悩みや苦労に応えるオンライン研修に対しては、95%以上の委員が研修に対して「良かった(とても良い+良い)」と回答した。オンライン実践報告についても80%以上(3動画のとても良い+良いと回答した平均)が「良かった」と回答した。</p> <p>■事業実施により、十分な事業効果をあげることができた。</p> <p>令和2年度大阪府福祉基金地域福祉推進助成(民間団体提案型事業)の助成を受けて実施した「民生委員・児童委員の担い手確保・活動環境改善に関する調査研究事業」の調査・分析結果とそれを踏まえた施策提案で挙げられた各種課題に対する具体的取組として本事業を推進したことで、大阪府内の各市町村民児協ならびに民生委員・児童委員の間で課題意識の共有と具体的な取り組みに対する意識づけが推進できた。</p> <p>■事業の実施により、関係機関等との連携・協働の強化を図ることができた。</p> <p>本事業は、大阪府ならびに大阪府民生委員児童委員協議会連合会、大阪府内に所在する41市町村49の民生委員児童委員協議会(連合会)の協力のもとで実施し、本事業終了後においても、本会と連携・協働しながら継続的に課題の改善に向けた対応を続けていく予定である。また、令和4年一斉改選後における大阪府内の民生委員・児童委員の委嘱状況の把握、課題についても検討していく。</p>

日)

(3) 「民生委員・児童委員活動環境改善オンライン実践報告会」の開催

全国各地における先駆的な民生委員・児童委員活動や民児協活動(民生委員協力員制度、班活動、ICT活用など)を紹介し、大阪府内における委員活動・民児協活動の改善につなげるためのオンライン実践報告会を開催した。

① 先進事例から学ぼう！民生委員・児童委員活動環境改善オンライン実践報告会
～古くて新しい発想“班活動”～
報告者：東京都民生児童委員連合会
動画再生回数：134回(令和3年10月1日～令和4年3月31日)

② 先進事例から学ぼう！民生委員・児童委員活動環境改善オンライン実践報告会
～民児協・委員活動におけるICT活用～
報告者：野々市市民生委員児童委員協議会(石川県)
動画再生回数：241回(令和3年10月15日～令和4年3月31日)

③ 先進事例から学ぼう！民生委員・児童委員活動環境改善オンライン実践報告会
～民生委員支援員制度～
報告者：神戸市民生委員児童委員協議会
動画再生回数：172回(和3年11月1日～令和4年3月31日)

(4) 民生委員・児童委員の活動環境改善事業ブックレットの作成・配付

上記(1)～(3)の事業の概要をまとめたブックレット(報告書)を10,000部作成し、大阪府内の全民生委員・児童委員に広く共有し、担い手確保・活動環境改善を推進した。

※写真の挿入も可能です。(1～2枚程度)